

ホーチミン日本人補習校第4学年 国語科学習指導案

1 単元 場面をくらべて読もう (題材：一つの花) 導入部分 (1/4)

2 本時の目標

- 「一つの花」を一読し、あらすじをつかむことができる。
- 「一つの花」に使われる意味のわからない語句を洗い出し、調べ、理解することができる。

3 本時の展開

学習活動と内容	中心的な指示・発問・説明と予想される子どもの反応及び指導上の留意点
<p>1 全文を音読する。</p> <p>(1)教師の範読(聞く)</p> <p>(2)復唱(読む)</p>	<p>指：先生が、「一つの花」を初めから終わりまで読みます。意味のわからない言葉に、赤鉛筆で線を引きながら聞きなさい。</p> <p>指：次に先生が一文ずつ読みます。声を揃えて、復唱しなさい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めは声が揃わないがだんだん揃ってくる。リズムも良くなる。 ※大きな声でテンポ良く復唱させる。(音読指導を兼ねる)
<p>2 難語句の意味を知る。</p>	<p>問：昔のお話ですので、みなさんが知らない言葉もたくさん出てきています。どの言葉に赤線を引きましたか。発表しなさい。</p> <p>※子どもがわからなかった語句について解説を加える。</p>
<p>3 物語のあらすじをつかむ。</p> <p>(1)あらすじを示す7つの文を物語の順序に従って並べ替える。</p> <p>(2)物語を3つの場面に分ける。</p>	<p>説：残り時間で、「一つの花」のあらすじをつかんでいきたいと思います。黒板に注目しなさい。</p> <p>※拡大コピーした別添のあらすじを7つに切り取ったものを、ランダムに黒板上に貼付していく。その後、次のように問いかける。</p> <p>問：このなかで、一番最初に来るのは何ですか。ハイ ○○さん。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦争がはげしかったところから始まる五行文だと思います。 <p>問：そのとおりです。次はこれだよね……。</p> <ul style="list-style-type: none"> ※このように言いながら、「お父さんが戦争に日も」から始まる文を貼る。 ・先生、ちがうよ。それはもっと後だよ。 ・次はね、「すると」で始まる文だよ。その次は、「そこで」の文だよ。 ※どうしてかな? 本当? 等とやりとりをしながら、次々と貼付する。 ※このようにして、7枚すべてを並び替えていく。 <p>説：「一つの花」は、3つの場面で構成されています。場面が変わるのはどこからですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ※完成したあらすじを見ながら考えさせる。 ・3つめと4つめのところで場面が変わると思います。 ・6つめと7つめの間でも、場面が変わります。 <p>問：どうしてそこで場面が変わると断言できるのですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初の3つは、戦争がはげしかったところのゆみ子の家の様子、次の3つは、お父さんが戦争に行くところで、舞台は駅だからです。 ・最後の1つははっきり違います。キーワードは、「それから十年」です。 ※このようなやりとりをしながら、3つの場面の特徴をおさえる。 ※きちんとあらすじがつかめたことを、大げさにほめる。
<p>4 学習の見通しもつ。</p> <p>(1)学習計画を知る。</p> <p>(2)「今日の宿題」の内容を知る。</p>	<p>説：これから、それぞれの場面ごとに1時間ずつを使って、内容を深く読んでいくことにします。最後に感想文が書けるとすばらしいですね。</p> <p>※「一つの花」のあらすじと原稿用紙2枚を配り、次の指示をだす。</p> <p>指：机上に原稿用紙を広げなさい。一行目に、上から三ます空けて、「一つの花」一ます空けて、あらすじと書きなさい。</p> <p>指：二行目、下にそろえて、名まえと書き、自分の名前を書きます。できましたか。それでは、一行あけて、プリントに書いてあるとおりにていねいに写します。一文字でも違ったらやりなおしをさせます。いいかげんな字や汚い字で書いてもやりなおしです。活字をうつしたような字を書きなさい。途中で一行空けるところがあります。なぜ空けるかわかりますか。そのとおり。場面が変わるから一行空けるのです。</p> <p>指：時間になりました。残りは宿題です。最後まで書き終え、来週、先生に提出します。それでは、これで、今日の授業を終わります。</p>